

# 彩の国エコアップ宣言(両神工場)

—環境負荷低減計画—

平成 20年 6月 16日

## 1 事業活動の概要

(1) 事業者名及び代表者名

(株) リテラ 両神工場

代表取締役社長 福島 廣昭

(2) 所在地

両神工場 : 埼玉県秩父郡小鹿野町両神薄2703番地

(3) 環境負荷低減主任者

環境管理責任者 : 松谷 昇

(4) 連絡先

環境ISO事務局 : 黒澤 郁夫

(5) 事業の内容

自動車用アルミ部品の生産・加工

(6) 事業の規模

資本金	3億4000万円
年間売上高	30億円
従業員数	両神工場 140人
延べ床面積	両神工場 2,769m <sup>3</sup>

(7) エネルギー使用量

平成19年度の燃料等使用量の原油換算合計量  
両神工場 2,608 キロリットル



## 2 環境方針

### 基本理念

株式会社リテラは、環境問題が人類共通の再重要課題であるとの認識のもと、地球環境の保全と環境にかかわる社会貢献をめざした企業活動を推進致します。

### 環境方針

- ① 当社の行う「自動車用アルミ部品の生産・加工事業」が環境に与える影響を考え環境保全を目的とした環境マネジメントシステムを構築し、**定期的**或いは**社会の変化に対応しながら継続的な改善**に努め、**環境汚染の予防**につとめる。
- ② 環境保全に関連する**法律・条令及び、同意したその他の要求事項**を**順守**する。
- ③ **排出物の低減**及び**再利用の拡大、及び省資源・省エネ化**を推進する。
- ④ 環境方針は関連会社を含む**全従業員に周知**する。また、**協力会社**にも**周知し、理解と協力を要請**する。
- ⑤ **周辺地域との交流**を深め、**地域活動に積極的に参加**すると共に、**自社内の環境保全**を実施する。

\*この方針は、インターネット等を通じ**一般の人にも開示**する。



株式会社 リテラ

代表取締役社長 福島 廣昭

### 3 環境負荷の現状（両神工場）

① 両神工場 CO2排出量（H19年度）  
4,807t-CO2

② 両神工場 廃棄物処分量（H19年度）  
56t



### 4 環境への負荷の低減目標

#### ① CO2排出の削減

##### \* 中期目標

CO2排出量を18年度生産量を基準として、23年度末までの5年間で、5%削減する。

両神工場 5,078t-CO2 / 4,908t（生産量）

・生産量1tあたりのCO2排出量 1.035t-CO2

1.035t-CO2 ⇨ 5%削減 ⇨ 0.983t-CO2

##### \* 短期目標

CO2排出量を18年度生産量を基準として、23年度末までの各年間で、1%削減する。

両神工場	18年度	19年度	20年度
	1.035t-CO2	1.004t-CO2	

#### ② 廃棄物処分量の削減

##### \* 中期目標

廃棄物処分量を18年度生産量を基準として、23年度末までの5年間で、5%削減する。

両神工場 44t / 4,908t（生産量）

・生産量1tあたりの廃棄物処分量 8.96kg

8.96kg ⇨ 5%削減 ⇨ 8.51kg

##### \* 短期目標

廃棄物処分量を18年度生産量を基準として、23年度末までの各年間で、1%削減する。

両神工場	18年度	19年度	20年度
	8.74kg	11.79kg	

## 5 具体的な取組の内容

### ① CO2排出の削減

- a 生産工程の稼働率を向上し、電力・ガスの使用量を削減する。
- b 空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)に努める。
- c 昼休み、休憩時間等無人時の消灯を徹底する。
- d 全社員及び関連会社の社内への車の乗り入れ時は、アイドリングストップを徹底する。
- e コピー機、パソコン等未使用時の電源OFFを徹底する。  
(特に帰宅時)

### ② 廃棄物の削減

- a 生産工程を見直して、廃棄物の発生を抑制する。
- b 産業廃棄物の埋立処理をリサイクルへの転換を図る。
- c 当社「グリーン調達ガイドライン」に沿って調達、購入する。
- d 両面コピーや裏紙使用を徹底し、廃棄物の削減を図る。

## 6 公開の方法

ホームページ掲載

<http://www.reterra.co.jp>

連絡先 : 環境ISO事務局



# 「彩の国エコアップ宣言」制度概念図

## 【企業】

### 内部への効果

- 1 社会への責任の表明
- 2 社会的要請の反映
- 3 企業活動へ信頼とイメージの向上
- 4 企業間競争力の強化
- 5 社内の環境教育
- 6 環境対策に伴う経済効果

### 環境マネジメントの実践

- 目標 (PLAN)  
↓  
実施 (DO)  
↓  
点検 (CHECK)  
↓  
見直し (ACTION)

## 【社会】

### 外部への効果

県民（消費者、地域住民）  
NPO、NGO  
取引先、投資家  
金融機関 等

- 1 情報の共有化
- 2 企業活動への批判・評価
- 3 需要者としての企業の選択
- 4 地域調和
- 5 協働による環境保全の取組

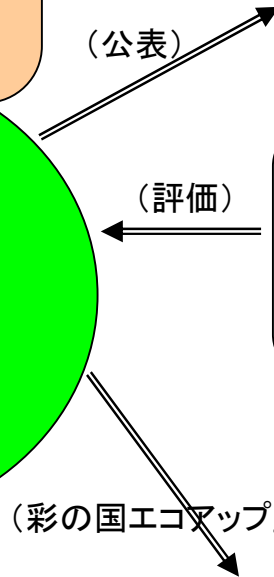
## 【県】

### 企業・社会への効果

- 1 企業の環境活動のレベルアップ
- 2 地域社会への安心感と信頼の醸成

### 環境負荷低減計画に盛り込む分野

- ① CO2、NOx の排出抑制
- ② 廃棄物の排出抑制、リサイクルの促進
- ③ 輸送に伴う環境負荷の低減
- ④ グリーン購入
- ⑤ 環境教育
- ⑥ その他(情報提供、社会貢献)など



# 彩の国エコアップ宣言(秩父工場)

—環境負荷低減計画—

平成 20年 6月 16日

## 1 事業活動の概要

(1) 事業者名及び代表者名

(株) リテラ 秩父工場

代表取締役社長 福島 廣昭

(2) 所在地

秩父工場 : 埼玉県秩父市みどりが丘9番地

(3) 環境負荷低減主任者

環境管理責任者 : 松谷 昇

(4) 連絡先

環境ISO事務局 : 黒澤 郁夫

(5) 事業の内容

自動車用アルミ部品の生産・加工

(6) 事業の規模

資本金 3億4000万円

年間売上高 30億円

従業員数 秩父工場 140人

延べ床面積 秩父工場 2,733m<sup>3</sup>

(7) エネルギー使用量

30期の燃料等使用量の原油換算合計量

秩父工場 3,523 キロリットル



## 2 環境方針

### 基本理念

株式会社リテラは、環境問題が人類共通の再重要課題であるとの認識のもと、地球環境の保全と環境にかかわる社会貢献をめざした企業活動を推進致します。

### 環境方針

- ① 当社の行う「自動車用アルミ部品の生産・加工事業」が環境に与える影響を考え環境保全を目的とした環境マネジメントシステムを構築し、**定期的**或いは**社会の変化に対応しながら継続的な改善**に努め、**環境汚染の予防**につとめる。
- ② 環境保全に関連する**法律・条令及び、同意した**その他の要求事項を**順守**する。
- ③ **排出物の低減**及び**再利用の拡大**、及び**省資源・省エネ化**を推進する。
- ④ 環境方針は関連会社を含む**全従業員に周知**する。また、**協力会社**にも周知し、**理解と協力を要請**する。
- ⑤ **周辺地域との交流**を深め、**地域活動に積極的に参加**すると共に、**自社内の環境保全**を実施する。

\*この方針は、インターネット等を通じ**一般の人にも開示**する。



株式会社 リテラ

代表取締役社長 福島 廣昭

### 3 環境負荷の現状（秩父工場）

- ① 秩父工場 CO2排出量（H19年度）  
6,443t-CO2
- ② 秩父工場 廃棄物処分量（H19年度）  
89t



### 4 環境への負荷の低減目標

#### ① CO2排出の削減

##### \* 中期目標

CO2排出量を18年度生産量を基準として、23年度末までの5年間で、5%削減する。

秩父工場 5,029t-CO2 / 3,264t（生産量）

・生産量1tあたりのCO2排出量 1.54t-CO2

1.54t-CO2 ⇨ 5%削減 ⇨ 1.46t-CO2

##### \* 短期目標

CO2排出量を18年度生産量を基準として、23年度末までの各年間で、1%削減する。

秩父工場	18年度	19年度	20年度
------	------	------	------

	1.54t-CO2	1.43t-CO2	
--	-----------	-----------	--

#### ② 廃棄物処分量の削減

##### \* 中期目標

廃棄物処分量を18年度生産量を基準として、23年度末までの5年間で、5%削減する。

秩父工場 34t / 3,264t（生産量）

・生産量1tあたりの廃棄物処分量 10.50kg

10.50kg ⇨ 5%削減 ⇨ 9.98kg

##### \* 短期目標

廃棄物処分量を18年度生産量を基準として、23年度末までの各年間で、1%削減する。

秩父工場	18年度	19年度	20年度
------	------	------	------

	10.50kg	19.62kg	
--	---------	---------	--

## 5 具体的な取組の内容

### ① CO2排出の削減

- a 生産工程の稼働率を向上し、電力・ガスの使用量を削減する。
- b 空調温度の適正化(冷房28℃ 暖房20℃)に努める。
- c 昼休み、休憩時間等無人時の消灯を徹底する。
- d 全社員及び関連会社の社内への車の乗り入れ時は、アイドリングストップを徹底する。
- e コピー機、パソコン等未使用時の電源OFFを徹底する。  
(特に帰宅時)

### ② 廃棄物の削減

- a 生産工程を見直して、廃棄物の発生を抑制する。
- b 産業廃棄物の埋立処理をリサイクルへの転換を図る。
- c 当社「グリーン調達ガイドライン」に沿って調達、購入する。
- d 両面コピーや裏紙使用を徹底し、廃棄物の削減を図る。

## 6 公開の方法

ホームページ掲載

<http://www.reterra.co.jp>

連絡先 : 環境ISO事務局



この文章は「埼玉県生活環境保全条例」第10条及び11条に基づき公表しています。

# 「彩の国エコアップ宣言」制度概念図

## 【企業】

### 内部への効果

- 1 社会への責任の表明
- 2 社会的要請の反映
- 3 企業活動へ信頼とイメージの向上
- 4 企業間競争力の強化
- 5 社内の環境教育
- 6 環境対策に伴う経済効果

### 環境マネジメントの実践

- 目標 (PLAN)  
↓  
実施 (DO)  
↓  
点検 (CHECK)  
↓  
見直し (ACTION)

## 【社会】

### 外部への効果

県民（消費者、地域住民）  
NPO、NGO  
取引先、投資家  
金融機関 等

- 1 情報の共有化
- 2 企業活動への批判・評価
- 3 需要者としての企業の選択
- 4 地域調和
- 5 協働による環境保全の取組

## 【県】

### 企業・社会への効果

- 1 企業の環境活動のレベルアップ
- 2 地域社会への安心感と信頼の醸成

### 環境負荷低減計画に盛り込む分野

- ① CO2、NOx の排出抑制
- ② 廃棄物の排出抑制、リサイクルの促進
- ③ 輸送に伴う環境負荷の低減
- ④ グリーン購入
- ⑤ 環境教育
- ⑥ その他(情報提供、社会貢献)など

(公表)

(評価)

(彩の国エコアップ宣言)

(公表)

